



エチオピア

家庭訪問調査【1】（低所得層）

エチオピア連邦民主共和国 Federal Democratic Republic of Ethiopia

- 面積：109.7万平方キロメートル〔日本の約3倍〕
- 人口：9,410万人（2013年 IMF）
- 首都：アディスアベバ



- 調査実施日：2016年11月15日～12月20日
- 調査場所：アディスアベバ市 ボレ副都市 カバレ地区
幹線道路から少し入った所の道路沿いにある。
周辺は質素な家が多いものの、立派な一戸建
の家屋や大企業の事務所も混在している。
- 調査対象：グルマ（仮名）さんの一家〔低所得層：4人家族〕
- 為替レート：1ドル≒ 22.47 エチオピア・ブル
（2016年12月20日時点、本文中は「ブル」と表記）



グルマさん（仮名）の自宅外観

グルマ（仮名）さんの一家

家族構成	グルマ（仮名）さん：37歳 妻：36歳 長男：4歳（幼稚園） 長女：3歳（幼稚園）
世帯収入	月収：5,000ブル程度 （夫婦ともに自営業による収入のため、正確な収支は不明。）
職業	グルマさん：電気工事＆水まわり工事・修理業 父が電気工事の技術者であったため、父から電気工事全般について学んだ。約20年前から電気工事を仕事としており、その後、電気工事に加えて水回りの工事・修理業も営んでいる。 妻：酒類・ソフトドリンク販売、インジェラ調理・販売 寝室と隣接する部屋を小さなバーのようにして、酒類や各種飲料を販売している。狭いスペースではあるが、テレビ、小さなテーブルと椅子があるので、近所の男性たちにテレビを観ながらビールが飲める場所として人気がある。数ヶ月前にインジェラ焼き器を購入したため、自宅用のインジェラを焼くのに加え販売用のものも焼いて、インジェラ焼き器が無い家庭向けに1枚5ブルで販売している。本レポートの取材中も、インジェラを買いに複数名の来客があった。インジェラはエチオピア人に欠かせない主食であり、近所の人が頻繁に利用している。

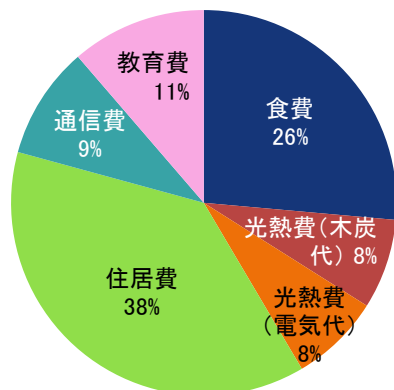


家計収支

支出内訳

支出項目	月間支出金額(ブル)
食費	1,400
光熱費(調理用の木炭)	400
光熱費(電気代の追加分)	400
水道代	(家賃に含まれている)
住居費(電気代、水道代を含む)	2,000
通信費(携帯電話代)	500
教育費	600
合計:	5,300

〔月間支出の内訳〕



家賃(2,000ブル)には、基本的に電気代と水道代が含まれているが、インジェラ焼き器を購入してからは追加で400ブル支払っている。水道は約15世帯(約30人)で使用する共同水栓。携帯電話はほとんどグルマさんの仕事用に使われており、私用の電話代はごくわずかである。



インフラ事情

■ 電気

電気は家までひかれていますが、共同で使用しているため電気代は家賃に含まれている。各戸で使用されている家電製品は少ない。インジェラ焼き器を購入してからは追加料金を支払うようにしている。

■ 水道

自宅の裏に共同水栓があり、これを約15世帯(約30名)で共有している。水道料金は家賃に含まれている。洗濯は基本的に1週間に1度、桶を使い手洗いしている。入浴は、子供たちは3日間に1度、大人は1週間に1度、シャワー浴を行っている。

■ 下水道・衛生設備

トイレと浴室は約15世帯が共同で使用している。トイレは男女兼用のため、朝は待ち時間が発生することもある。シャワーは冷水しか出ないので、早朝や夜は寒いと感じる。子供たちにははできる限り日中の暖かい時間帯に、鍋で沸かしたお湯を使って家の前でシャワー浴をさせるようにしている。

■ ゴミの回収

週に1度はゴミの回収が来るようになっており、特に不満はない。地域住民が一斉にお祝いの料理などを用意するような祝日の後には、1週間に2度回収に来てくれることもある。



住居

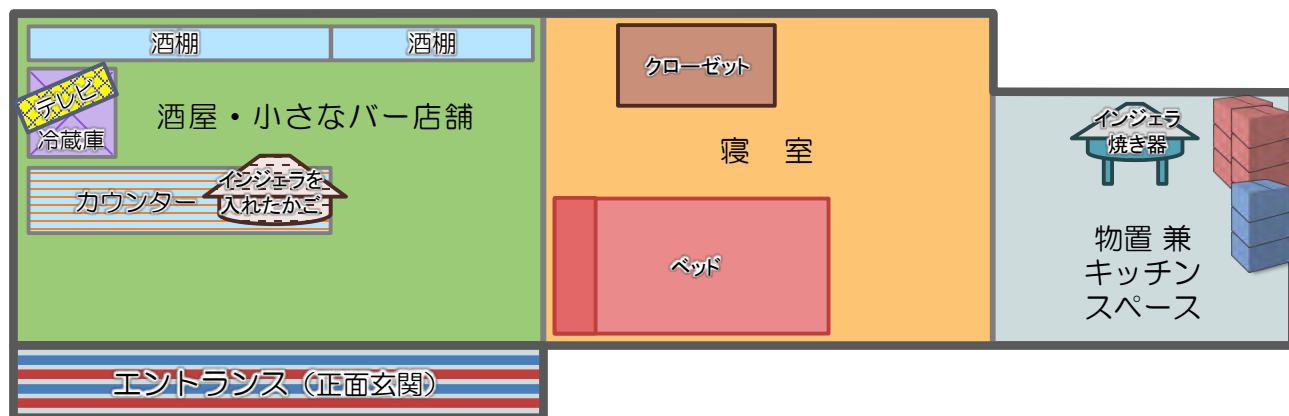
住居の概況	
住宅の所有状況	賃貸
間取り	2部屋+物置兼キッチン
賃貸料	月額: 2,000ブル (電気代と水道代込)
電気	引かれている
水道	引かれている(共同水栓)
トイレ・水回り	共用のトイレ・浴室を利用



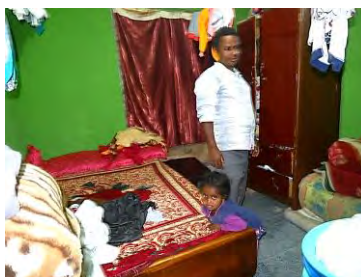
自宅外観

グルマさんは、月額家賃2,000ブル(約1万3千円相当)は少々高いと感じているが、道路沿いの角地というロケーションが商売には都合が良いとも考えている。しかし、寝室が酒屋・バー店舗部分のすぐ隣であり、子供たちが大きくなるまでに、頑張ってより良い環境の家に引っ越したいと考えている。

■間取り図



正面玄関を入ると小さなバー店舗(ソフトドリンクもある)となっており、こちらでインジェラも販売している。カウンター上に置かれたフタ付きのかごにインジェラを入れて保管している。



バー店舗のすぐ隣にある部屋が家族の寝室。家電製品は照明用の電球くらいで、家具はベッドとクローゼットのみ。



寝室の隣にある物置兼キッチン。こちらでインジェラを仕込み焼く。なお、煮込み料理の際は木炭を使用するためこの部屋ではなく、野外で煮炊きする。



所有家財・家電製品

品名	ブランド	購入価格(ブル)	備考
21インチ型テレビ	SAMSUNG	1,600	約2年前に、知り合いから買い取った。
衛星放送用アンテナとテレビチューナー	EUROSTAR	1,700	約5年前にマルカート市場で購入。
オーディオシステム	GEEPRS	2,500	エチオピアでは有名なメーカーのもの。約1年前にマルカート市場で購入。
冷蔵庫(2ドア型)	GLORY	3,100	約6年前にマルカート市場で購入。
インジェラ焼き器	—	600	約3か月前にアディスアベバ郊外のカリティまで遠出して購入。



SAMSUNGの21型テレビ。ただし、薄型テレビではない。



衛星放送受信用アンテナ(上写真)とテレビチューナー(下写真)



経営するバーでは、エチオピアのポップスや伝統音楽を流すと客に喜ばれるため、店内にオーディオシステムを設置している。



GLORYの冷蔵庫

バーに設置するには、あまり見栄えがよくないので不満に思っている。将来的には、よりスタイリッシュなLGの冷蔵庫(近年エチオピアで人気がある)に買い替えたいと考えている。



インジェラ焼き器

アディスアベバ中心街では価格が高く、なかなか手が届かないが、郊外の街で安く(600ブル)購入することができたので非常に満足している。このインジェラ焼き器を購入する以前は、家で食べるインジェラは市販のものを購入していた。市販のインジェラは原材料に不純物が混ざっていることが多く、食の安全面に常に不安があり、自家製で焼くことができるようになったのは大きな利点だ。さらに、作ったインジェラを販売することで副収入が増えて満足している。

■ 今後購入したい家電製品や家財道具

現在は金銭的な余裕がないため、特に家電製品を買い足す計画はないが、もし少し余裕ができればLGのプラズマテレビがほしい。薄型の大画面テレビ憧れがあり、バー店舗に置いたら見栄えもよくなるし、大きな画面で客も喜び、集客も増えることが期待できる。しかし、家電製品よりも最もほしいものは、現在のような借家ではなく自分たちの持ち家と自動車と考えている。



エチオピアの代表的な主食は「インジェラ」。グルマさんの家庭でも毎日平均2度はインジェラを食べる。肉は贅沢品なので2週間に1回程度。野菜や豆の煮込み料理をインジェラで包んで食べるのが習慣となっている。

子供たちの昼食用に、米料理やパスタ・マカロニ料理もよく作る。お米はエチオピア産の米が最も安い(1kgあたり18ブル)が、調理しても水分をあまり含まず硬すぎるため、値段が倍以上するが子供たちのためにバスマティ米(1kgあたり40ブル)を買うようになった。

ニンニクは、インジェラの具やパスタソース、お米料理と、エチオピア人の食事に欠かせない食材のひとつ。空き時間があればニンニクの皮むきをするのが、エチオピア女性の日課である。



エチオピアの代表的な主食のインジェラ。子供たちのためのバスマティ米インジェラ焼き器で焼いた自家製のもの。を使った料理。母の愛情が感じられる一品。

皮をむいた大量のニンニク(左写真)。ニンニクはエチオピア料理に欠かせない食材のひとつ。

■ 食材の購入

● 生鮮食品: 野菜類

週1回、近所のボレ・ミカエル地区の青空市場で購入。

● インジェラ用のテフ粉

「テフ」はイネ科の穀物で、「ウオフチョー・ベツ」と呼ばれる製粉所で月に1度、50kg単位で購入している。テフ粉の品質には色々あるが、19ブル/kgの安いグレードのものを購入してコストを抑えている。(最も上等なテフは色が白く、価格は25ブル/kg。庶民はあまり購入しない。)

● キンチェ用のオーツ麦

「キンチェ」は、オーツ麦を少量の油とお湯で炊いたもので、オートミールのようなもの。薄い塩味で、朝食によく食べる。月に数回、青空市場で50ブル/kgのものを購入している。

● バツソ

日本の「こがし麦(はったい粉)」のようなもので、大麦を煎って粉にしたもの。朝食によく食べる。市場で28ブル/kgで購入。

● 加工食品

近所の「スーク」と呼ばれるキオスクのような小さな商店で、必要に応じて購入している。



バツソ(こがし麦)

既に煎ってあるので、水やミルク、ハチミツと一緒に混ぜると、健康ドリンクになる。エチオピアでは、バツソに熱湯と塩、バターまたはサラダ油を少々を混ぜ、手で練ったものが朝食として、よく食べられている。



ジャム(オレンジマーマレード)
ジャムは子供たちがパンにつけて食べるために時々購入する。近所のスークで55ブル。



チョコレートクリーム
パンにつけると子供たちが喜ぶ物のひとつで、ジャムより価格が高め。贅沢品なのでまれにしか購入しない。近所のスークで80ブル。

[空き容器の再利用]

ジャムやチョコレートクリームの容器はしっかりしているので、常に再利用している。

現在、ジャムの空き容器には、「アズマリ」と呼ばれる香辛料の一種を入れている。アズマリはパスタソース等の香りづけに使う。チョコレートクリームの空き容器には、岩塩を砕いたものを入れている。岩塩は煮込み料理に重宝するので、塊を青空市場から購入し、それを家庭で砕いてから使用するのが一般的。岩塩はミネラルがたっぷり含まれているためか、精製食塩を使って調理するよりも、うまみが増す気がする、という主婦が多い。また、精製食塩よりも価格が安いので庶民の味方となっている。



食生活・食事

■ 食材の購入



サラダ油

5L入りで320ブル（約330円/L）と少々高いが、必需品。



バルバレ(香辛料)

エチオピア料理に欠かせない香辛料。家で唐辛子を1度洗い天日干した後、軽く煎った10種類近くの香辛料と合わせて製粉所に持ち込み、粉状に挽いたもの。



シロ(豆の粉)

インジェラに欠かせない、ペースト状の豆の煮込み料理に使用する。市販品もあるが、多くの家庭が自家製のものを作る。グルマさんの家でも自家製のものを使用している。

■ 調理用熱源

煮込み料理を調理する際は、木炭と木炭コンロを使用している。



取材日は久しぶりの肉料理。肉炒めや肉煮込みを作るには肉の量が少なすぎたため、スープにした。木炭コンロに鍋をかけ、仕込み中。



衣服、ファッション

グルマさんと妻の衣服は滅多に購入しない。年に一度も買わないこともある。その代わりに子供たちには、1年に2~3回、クリスマスやイースター、新年等の機会に服や靴を購入している。正確には把握できていないが、子供2人に対し1年間で2,000ブル以上支出している可能性もある、とのことである。



グルマさん(写真右)と長女(写真左)

グルマさんは、トップスはラフなものであったが、ズボンはスラックスを履いており、社会人として「きちんとした」スタイルが印象的。都市部では、高い化粧品や洋服で着飾り、おしゃれをする女性が多い中、妻は全く着飾る様子がない。かわりに、長女にはできるだけかわいい服を着せてあげたいという親心が伝わってくる。



妻の普段着

自分たち夫婦の服は滅多に買わず、子供たちのための服や靴を購入している。



長男

夫婦2人のニーズを後回しにしつつ、子供たちを私立の幼稚園に通わせ、高価な食材(例:子供が食べやすいお米)や洋服を購入することから、「子供には苦勞させたくない」という思いが伝わってくる。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。